

選 択 問 題 紙

経済学部 1・2 部

人文学部 1・2 部（英米文化学科）

2023 年 2 月 9 日

10:00 ～ 11:00（60分）

注 意 事 項

—— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。——

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

受験する学部（1・2部の区別を含む）に該当する問題のページと解答用紙の色を下表で確認すること。

選択問題	ページ	解答用紙
日 本 史 B	2 ～ 9	水 色
世 界 史 B	10 ～ 15	緑 色
地 理 B	16 ～ 27	紫 色
政 治・経 済	28 ～ 38	桃 色
数学（経済学部 1）	40 ～ 44	黄 色
数学（経済学部 2 部）	40 ～ 42	灰 色

2. 解答用紙は 1 枚だけ提出すること。2 枚以上提出した場合にはすべて無効となる。

3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。

4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。

試験終了まで退室してはいけない。

5. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

—— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。——

6. 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

1 部受験者は問題 **1**，**2** が必須で、問題 **3**，**4**，**5** については、これらの中から 1 問を選択し、解答用紙の ☐ の中に選択した問題の番号を記入すること。

2 部受験者は問題 **1**，**2**，**3** の全問が必須である。

世界史 B

1

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

東南アジアは、紀元前後に東西を結ぶ貿易が始まると、その中継地や、その輸出品となる産物の宝庫として注目されるようになり、沿岸部に住む諸民族が、中国やインドとの貿易の担い手として活躍するいっぽう、インド系・ペルシア系などの商人がさかんに来航した。貿易による富の蓄積や、外来文明との接触を通じて、マレー半島や大陸沿岸部などに（ 1 ）国家が成立し、やがてメコンデルタを本拠とする（ A ）、ベトナム中部沿岸の（ B ）など、（ 1 ）国家群を支配する大国も登場した。いっぽう、中国大陸南部やベトナム北部での国家形成の動きは、中国の王朝によって押しつぶされた。

マラッカ海峡を抜ける交易ルートが発達した7世紀以降には、島嶼部に強大な国家が現れた。7世紀なかば、マラッカ海峡を支配した（ 1 ）国家連合が、スマトラ島のパレンバンを中心に（ C ）を建国し、ついで8世紀なかばにはジャワ島中部の（ D ）朝が繁栄した。これらの国家では（ 2 ）仏教が広まり、ジャワ島中部の（ 3 ）寺院が築かれた。いっぽう大陸部でも、10世紀に中国から独立した北部ベトナムが発展してゆき、（ E ）朝は13世紀末に元（モンゴル帝国）の侵攻を撃退した。また、クメール人がたてたカンボジアも9世紀から強大化し、12～13世紀の最盛期には巨大寺院の（ 4 ）などが建設された。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 4 ）にあてはまる語句を答えよ。

問2 文中の空欄（ A ）～（ E ）にあてはまる国家名または王朝名を、下の語群から1つ選び、記号で答えよ。

- | | | |
|---------------|------------|----------|
| ア. 真臘 | イ. 扶南 | ウ. 南詔 |
| エ. ドヴァーラヴァティー | オ. シャイレンドラ | カ. パガン |
| キ. シュリーヴィジャヤ | ク. マジャパヒト | ケ. チャンパー |
| コ. ピュー | サ. アチェ | シ. アユタヤ |
| ス. 阮 | セ. 李 | ソ. 陳 |

問3 下線部(a)に関連して、インド洋を中心に、アフリカ東岸から中国・日本までを結んだ海上交易ルートの呼称を答えよ。

2

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

ローマ帝国支配下のパレスチナで誕生したキリスト教は、当初迫害を受けたものの、のちには帝国の国教と認められた。西ローマ帝国崩壊後も、キリスト教はゲルマン世界に拡大し、西ヨーロッパ中世世界の基盤となる。その中でローマ司教は、使徒（ 1 ）の後継者を自認し、教会にかかわる事柄について絶対的な権威を持つ「教皇」という称号を用いるようになった。教皇（ 2 ）は、聖職者を任命する権利を世俗権力から教会の手に移して教皇権を強化しようとし、ドイツ国王（のち神聖ローマ皇帝）ハインリヒ 4 世と争った。教皇（ 2 ）に破門されたハインリヒ 4 世は、北イタリアの教皇の滞在先まで赴き許しを乞うた。また教皇（ 3 ）は、クレルモン宗教会議においてイスラーム勢力からの聖地回復を訴え、十字軍が派遣された。ローマ教皇の権威は、イギリスのジョン王を破門したことで知られる教皇（ 4 ）のとき絶頂に達した。

しかし十字軍の失敗や各国での王権の伸長により、教皇の権威は次第に衰えを見せるようになる。聖職者への課税をめぐりフランス国王フィリップ 4 世と争った教皇（ 5 ）は、王に捕らえられ、間もなく釈放されたものの屈辱のうちに死んだ。フィリップ 4 世はその後教皇庁を南フランスのアヴィニョンに移し、以後約 70 年間、教皇はフランス王の支配下に置かれた。さらに複数の教皇が並立する教会大分裂も生じ、教皇と教会の権威の失墜は決定的となった。メディチ家出身の教皇（ 6 ）がサン=ピエトロ大聖堂の新築資金を集めるために、ドイツで贖宥状（免罪符）の販売を始めると、ヴィッテンベルク大学神学教授の（ 7 ）は『95 条の論題』を発表し、教皇庁を批判した。これにより宗教改革が始まり、西ヨーロッパのキリスト教世界はカトリックと（ 8 ）に分裂した。

問 1 文中の空欄（ 1 ）～（ 8 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問 2 下線部 (a) に関連して、ローマ帝国においてキリスト教を国教化した皇帝を、次の ア～エ から 1 つ選び、記号で答えよ

ア. ユリアヌス イ. コンスタンティヌス ウ. ハドリアヌス エ. テオドシウス

問 3 下線部 (b) に関連して、この権利を何というか答えよ。

問 4 下線部 (c) に関連して、この出来事を何というか答えよ。

問 5 下線部 (d) に関連して、この事件を何というか答えよ。

問 6 下線部 (e) に関連して、メディチ家が拠点を置いていた都市を次の ア～エ から 1 つ選び、記号で答えよ。

ア. フィレンツェ イ. ヴェネツィア ウ. ミラノ エ. パレルモ

世

問7 下線部(f)に関連して、サン=ピエトロ大聖堂の建築にも関わり、『ダヴィデ像』でも知られるルネサンス期イタリアを代表する芸術家の人名を答えよ。

問8 下線部(g)に関連して、カトリック側からの「対抗宗教改革」の旗手となった修道会の名を答えよ。

3

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

チンギス=ハンはモンゴル系・トルコ系の諸部族を統一してモンゴル帝国を興した。彼の死後即位した（ 1 ）は、1234年に（ A ）を滅ぼし華北を領有した。ついで（ 2 ）の率いる軍は東欧に侵入し、1241年にワールシュタットの戦いでドイツ・（ B ）連合軍を破ってヨーロッパ世界をおびやかした。西アジアでは、（ 3 ）が1258年にバグダードを占領して（ C ）を滅ぼした。その結果、13世紀半ばまでに、モンゴルの支配は、東は中国北部から西はロシア・イランにいたる広大な領域に広がった。この大領土の中には、イラン・イラク方面の（ D ）、南ロシアの（ E ）、中央アジアの（ F ）など、チンギス=ハンの子孫たちがおさめる地方的政権がつくられ、それらが^(a)大ハンのもとにゆるやかに連合するという形をとった。しかし、それら諸勢力の間では大ハン位をめぐる相続争いもしばしばおこった。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 3 ）にあてはまるチンギス=ハンの子孫の名を、次のア～クからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

ア. フラグ イ. ナヤン ウ. バトゥ エ. ジョチ
オ. オゴタイ カ. モンケ キ. アリクブケ ク. グユク

問2 文中の空欄（ A ）～（ F ）にあてはまる国・王朝名を、次のア～ソからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

ア. 南宋 イ. 西遼 ウ. 金
エ. ハンガリー オ. ポーランド カ. デンマーク
キ. アッバース朝 ク. ウマイヤ朝 ケ. セルジューク朝
コ. キプチャク=ハン国 サ. イル=ハン国 シ. ヒヴァ=ハン国
ス. クリム=ハン国 セ. カザフ=ハン国 ソ. チャガタイ=ハン国

問3 下線部(a)に関連して、第5代大ハンのフビライに反乱し、フビライの死後テムルが大ハン位を継ぐと決戦を挑んだが1301年に敗れて戦傷死した、（ 1 ）の孫の名を答えよ。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

アメリカ合衆国では、1800年に反連邦派の（ 1 ）が第3代大統領に選ばれ、以後、政党間での政権交代が定着していった。1812年におこった（ 2 ）戦争によって州をこえたアメリカ人としての自覚が高まるとともに、工業製品の輸入がとだえたため、アメリカ合衆国自体の工業化が促進された。また、第5代大統領（ 3 ）は、ラテンアメリカ諸国の独立^(a)を支持するため、ヨーロッパ諸国のアメリカ大陸への干渉に反対し、アメリカ合衆国もヨーロッパに干渉しないという相互不干渉を表明する（ 3 ）教書を1823年に発表した。これはその後長くアメリカ合衆国の外交政策の基本となった。第7代大統領（ 4 ）の時代には西部開拓が推進され^(b)、さらに（ 5 ）戦争に勝利したことで1840年代にアメリカ合衆国の領土は太平洋岸に達した^(c)。

アメリカの北部と南部は、たがいに依存しながら発展してきたが対立もあった。南部では大農園で黒人奴隷を使役し、栽培した綿花やタバコをイギリスに輸出して利益を得ていた。イギリスからの綿製品輸入にもつながる（ 6 ）貿易政策を支持していた。一方の北部は、イギリスの工業製品に対抗して国内市場を確保するための（ 7 ）貿易政策を支持していた。自由な労働力育成への期待と人道主義から、北部では黒人奴隷制反対の声も強かった^(d)。1860年の大統領選挙で、奴隷制の拡大反対を唱える（ 8 ）党からリンカンが当選すると、南部諸州は連邦から離脱し、1861年に（ 9 ）を結成した。こうして対立は決定的となり、南北戦争が始まった^(e)。リンカンは、1863年に奴隷解放宣言を出し、内外世論の支持を集めはじめた。そして同年の（ 10 ）の戦いに勝利をおさめて以降、北軍が優勢となり、南軍は1865年に降伏し、合衆国は再統一された。

問1 （ 1 ）～（ 10 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、ラテンアメリカ地域で最初に独立した黒人共和国の名称を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、西部開拓に関する記述として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 1830年には先住民をコロラド川以西へ強制移住させる法律が制定された。

イ. 1840年代には合衆国による西部開拓を正当化する「明白な天命」説が流布されるようになった。

ウ. 強制移住させられた先住民は保留地に居住した。

エ. 開拓をつうじて養われる自主独立の精神はフロンティア=スピリットとよばれた。

問4 下線部(c)に関連して、アメリカ合衆国の領土拡大に関する記述として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 13植民地が統合されてアメリカ合衆国が建国された。
- イ. 1803年にフランスよりミシシッピ川以西のルイジアナを買収した。
- ウ. 1819年にスペインよりフロリダを買収した。
- エ. 1845年にメキシコ領土であったカリフォルニアを併合した。

問5 下線部(d)に関連して、アメリカ合衆国の奴隷制度に関する記述として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 「アンクル=トムの小屋」は1852年に発表された奴隷制の悲惨さを描いた作品である。
- イ. 主に黒人奴隷をもちいて南部諸州で展開された大農園をプランテーションという。
- ウ. 1820年には北緯36度30分以北には奴隷州を作らないと定めたミネソタ協定が結ばれた。
- エ. 1854年には新州における奴隷制の可否を住民の決定に委ねるカンザス・ネブラスカ法が制定された。

問6 下線部(e)に関連して、1862年には公有地で5年間居住・耕作した者に、160エーカー（約65ヘクタール）の土地を無償で与える法律が制定され、これにより北軍は西部農民の支持を確保した。この法律の名称を答えよ。